

科目名	文章の読み方	科目分類	□ 専門科目群 ■ 総合科目群	
			全学科	□ 必修 ■ 選択
英文表記	Study of Modern Japanese Literature	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	はしもと しほ	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	橋元志保	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	研究のための読書の基盤をつくるために、様々な分野の論理的文章の読解を行い、早く正確に読み解くことが出来るようになる。			
到達目標	この授業の単位を良好な成績で修得した場合、次のような知識・能力を修得することができます。 1. 論理的文章の読解に慣れ、正確にその意味内容を理解し、要約できるようになる。 2. 公務員試験の文章理解や、SPI 試験の長文読解を早く正確に読み解けるようになる。 3. 難解な文章や論文を正確に読み解き、研究のための読書（文献調査）の基礎力が身につく。			
授業概要	<p>「読むこと」は「書くこと」と同様に、創造的な行為であることは、昨今の文学研究における共通認識となっています。つまり、あなたの目の前に存在する文章は、あなたが読まなければただのインクの染み、活字の羅列に過ぎません。読者であるあなたが「読むこと」によって、はじめて活字は言葉となり、文章は理解され、意味を持つのです。</p> <p>「本を読む人は、もう一人の親友を持っているようなものだ」とは良く言われることですが、「読むこと」の可能性は、常にあなたの前に開かれています。「読むこと」によって、わたしたちは可視の世界を超えた様々な事物に出会うことができます。また、「読むこと」はあらゆる勉学の基礎でもあります。</p> <p>本講義では、様々な分野の文章を読むことによって、読解力とそれを表現する力を養い、自分自身の思考を深めていく一助にしたいと考えています。</p>			
授業計画				
第1回	「読むこと」と「書くこと」－研究のための読書とは－			
第2回	読解の基礎Ⅰ－言語とコミュニケーション－			
第3回	読解の基礎Ⅱ－知の枠組みとは何か－			
第4回	読解の基礎Ⅲ－キーワード、テーマ、構成について－			
第5回	論理的文章を読む－姜尚中『悩む力』「自己とは何か」－			
第6回	論理的文章を読む－姜尚中『悩む力』「何のために働くのか」－			
第7回	論理的文章を読む－姜尚中『続・悩む力』「生きがいについて」－			
第8回	SPI 試験・公務員試験対策Ⅰ－文章理解・長文読解について－			
第9回	歴史を読む－塩野七生『ローマ人の物語』「すべての道はローマに通ず」－			
第10回	歴史を読む－塩野七生『ローマ人の物語』「ローマの政策とローマ街道」－			
第11回	歴史を読む－塩野七生『ローマ人の物語』「帝政ローマの発展とその遺産」－			
第12回	難解な文章を読む－小林秀雄「美を求める心」－			
第13回	難解な文章を読む－小林秀雄「平家物語」－			
第14回	難解な文章を読む－小林秀雄「当麻」「西行」－			
第15回	SPI 試験・公務員試験対策Ⅱ－文章理解・長文読解について－			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. テキストとする文章の難易度を段階的に上げていくので、配布された資料を良く読み、難解な語句や漢字の意味は必ず調べましょう（1時間程度）。 2. 毎回課題プリントを配布しますので、授業内容を復習しながら記述し、提出してください（1時間程度）。			

	3. 授業の際に紹介した評論やエッセイ、文学書等をぜひ読みましょう (1~2 時間程度)
履修条件 受講のルール	漢検 2~3 級程度の語彙力を必要としますので、国語が苦手な人は良く辞書を引く、復習をする、といった努力を怠らないでください。なお、受講者が例年多いので、私語を慎み、真面目な授業態度で受講してください。
テキスト	資料を配布します。姜尚中『悩む力』(集英社新書 2008 年)・塩野七生『ローマ人の物語』10 巻(新潮社 2001 年)・晴山 亨ほか『読解を深める 現代文単語〈評論・小説〉』(桐原書店 2013 年) 他
参考文献・資料	授業時に紹介します。小林秀雄『小林秀雄全作品』14 巻・21 巻・23 巻他(新潮社 2003 年~2004 年) 司馬遼太郎『この国のかたち』第 1~6 巻(文藝春秋 1990~1996 年) 他
成績評価の方法	【主体的な学びの姿勢 (15%)、課題の提出 (25%)、試験 (60%)】の総合評価とします。 1. 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることが出来ません。 2. 出席確認時に不在だった場合、原則としてその回は欠席とします。 3. 講義中に無許可で退出した場合は、欠席とします。 4. 授業中の迷惑行為は厳禁です。そのような行為を繰り返し、注意しても改めない時は、履修または単位を認定できない場合があります。
オフィスアワー	火曜日 (14:40~16:10) 木曜日 (14:30~16:10) ※これ以外の時間は、事前に予約してください。
成績評価基準	秀 (100~90 点)、優 (89~80 点)、良 (79~70 点)、可 (69~60 点)、不可 (59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	あらゆる分野の学問の基礎である読解力を養います。また、公務員試験や採用試験 (SPI 試験) にも必ず役立ちますので、ぜひ受講してください。